

世界最大の 生涯スポーツの国際大会

徳島大学大学院教授

佐藤 充宏



2021年5月15日〜30日、4年に1度開催される世界最大の生涯スポーツの国際総合競技大会「ワールドマスターズゲームズ2021(WMG2021と略す)」がアジアで初めて関西広域連合の8府県にやってきます。国内外約5万人のマスターズ選手の参加を見込まれており、関西全域で32競技55種目の試合が展開されます。徳島県でも、ゴルフ、ボウリング、ウエイトリフティング、トライアスロン、アスロン、カヌーの競技会場となることが決定し、県や自治体、関係スポーツ団体とともに県民あげてこの国際大会の成功をめざして準備を進めています。

この大会は、原則30歳以上の成人・中高年の一般スポーツ愛好者であれば誰でも参加できることから、徳島県内の生涯スポ

ーツの推進において大きな契機となることが期待されています。元プロ選手や元オリンピック選手も出場し、キャリアを超えて一般選手と競技できる点は、オリンピックにはない特長でもあります。日常のスポーツ活動の成果を発揮するために、また国を超えてスポーツ仲間との交流を楽しむために、ぜひこの大会に参加してみませんか。

この大会の意義は、単に競技する選手だけが楽しむためのものではありません。大会を支えるスポーツボランティアとして参加し選手の方々と交流することや、試合観戦に出かけ、会場での応援や交流イベントに参加することも生涯スポーツの楽しみ方です。このように、県民の多くの方がこのスポーツの祭典に関わって国際交流を楽しむことが、徳島の文化を世界に発信できる良い機会となります。

2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、そして2021年の関西WMG2021と世界的な大会が3か年続き、日本スポーツが大きく質的に転換するといわれています。この国際スポーツ大会の機会を活かして、県民誰もが、生涯スポーツに親しめる環境づくりや、県内スポ



ーツリズム産業の基盤整備を進め、徳島の暮らしの豊かさにつなげることも重要です。今年1月、関西WMG組織委員会が主催するインターカレッジ・コンペティション2016において、私のゼミ学生が「しわしわすぽーつ波道巡り」と題して関西WMGの徳島開催と地域活性化策について発表し、関西経済同友会賞を受賞しました。このように国際スポーツ大会を通じた地域交流を活用し、県民の智慧を出し合って暮らしの豊かさに結びつけ、徳島の豊かなスポーツ文化づくりをすすめていきましょう。